



# 西中だより

第19号 令和5年10月11日(水)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

## 一人ひとりが そして 西中全体が強く結びついた 青雲祭

9月22日(金)・23日(土)に、青雲祭が行われました。

青雲祭前日の第16号でお伝えしたとおり、今年度は、発表部門、競技部門をとおして、全校、学年、ブロック(縦割り・異学年)、学級、それぞれの単位で、団結力や一体感を競い、味わうことができるよう、内容が工夫されていましたが、当日は、それぞれの場面で、一生懸命に、そして、いきいきと取り組む姿が見られました。

今回の学校だよりでは、1日目の文化部門の様子を当日の流れに沿って、その雰囲気をお伝えしたいと思います。

### ＝開祭式＝

開祭式では、谷野斗哉生徒会長の「絆を深めて、活動することなど、多くの場面で協力してきました。このつながりを今日この場で発揮し、より強い糸で結ばれるように全員の絆を深めて最高の青雲祭にしましょう」という開祭宣言に続き、各学年、部門の代表から決意表明がありました。



### ＝ポスター入選作披露＝



ポスター入選作が発表されました。写真は手書き部門・最優秀の岡室成さんのものです。入賞者には、登壇してもらうとともに、感想発表があり、「こんな素晴らしい賞をもらえて嬉しい」などの感想が語られました。



### ＝学級旗披露＝

各学級で制作した学級旗が、そこに込められたメッセージとともに披露されました。この学級旗は学園祭中は体育館に飾られたり、体育部門の応援で使われました。その後は、学級のシンボルとして各教室に飾られています。

### ＝1 学年発表＝



### 演劇「泣いた赤鬼」と 合唱「大切なもの」…

1年生の学年演劇は、友情をテーマにした「泣いた赤鬼」でした。演者はもちろんのこと入念に作られた背景画や小道具、そして、各学級が歌う劇中歌が効果的でした。はじめての学年合唱「大切なもの」は、一生懸命歌う姿が印象的でした。

### ＝2学年発表＝

演劇「MY LIFE」と合唱「未来へ」  
2年生の学年演劇は、「MY LIFE」でした。主人公の中学生2人が、将来について考えるというもので、夏休みの職場体験にもリンクしていました。学年合唱は kiroro の名曲「未来」であり、演劇とも相まって、自分の将来を考え始める2年生にふさわしい発表となりました。



## 吹奏楽部発表

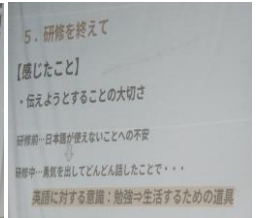
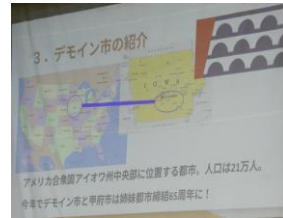


夏の吹奏楽コンクールで発表した曲から始まり、誰もが一度は聞いたことのある、ノリのいいナンバーや1年生の部員によるダンスも交え、計4曲、披露してくれました。部員が務めるMCが進行し、会場とやり取りしながら、楽しい雰囲気を進めることが出来ました。

## 広島平和祈念式典・姉妹友好都市デモイン市派遣 報告



夏休みに甲府市の派遣団の一員として参加した生徒による、広島平和記念式典と姉妹都市デモイン研修の報告でした。コロナ禍のため4年ぶりの報告となりました。「来年は自分が行きたい」と思った生徒も多くいたのではないかと思います。



## 3学年発表



### 演舞・応援と合唱「友 旅立ちの時」

西中最上級生としての誇りと自覚を感じる圧巻の発表でした。学年代表及び各クラスの糸乱れぬ統一感ある演舞と学年全員による下級生に向けたエール…「誇れる西中」を後輩に託す思いが伝わってきました。合唱「友 旅立ちの時」では、男声・女声の調和のとれたハーモニーが響きました。

## 応援発表

応援委員による大迫力の応援発表でした。応援をリードする応援委員とそれに応え、手拍子を送る全校生徒…。「呼一応」の関係がしっかりできていて素晴らしい雰囲気と一体感に包まれました。



## 美術部作品展示



美術部の作品が体育館の一角に飾られました。生徒はもとより、来場した保護者の方も、興味深げに鑑賞していました。写真は部員が3~4名のグループで共同制作した切り絵です。素晴らしい出来栄です。

### 多くの保護者の方に来場いただきました ありがとうございます

コロナ禍の3年間をはさんで、4年ぶりに本来の内容での開催となった青雲祭でした。文化部門では、お子さんの発表している時間帯のみの参観という形で一部制限を設けましたが、文化・体育の両日で延べ500名近い方々に参観いただきました。

今後も合唱祭やオープンスクールなどありますので、ぜひ、足をお運びください。

## 雰囲気を高めた全校制作と生徒会本部による進行 ……会場全体が一体となって楽しみました

発表の舞台となるステージのバックには全校制作の壁画(北森杏樹さん原画、様々な糸が紡がれてできている鳩)が飾られ、発表に彩りを添えてくれました。また、生徒会本部役員が、人と人の縁を結ぶ「結び屋」が人を結びつける物資ユナニウムを求めて西中を訪れるという設定のもと演劇仕立てで進行してくれました。生徒会本部役員らによる自作のシナリオとのことで「すごい」と思いましたし、また、それを一緒に楽しむ全校生徒の姿には、「西中っていいな」、「青雲祭っていいな」と思いました。

